

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）



第63期（決算日：2018年12月4日）
 第64期（決算日：2019年1月4日）
 第65期（決算日：2019年2月4日）
 第66期（決算日：2019年3月4日）
 第67期（決算日：2019年4月4日）
 第68期（決算日：2019年5月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）」は、去る5月7日に第68期の決算を行いましたので、法令に基づいて第63期～第68期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	期 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
39期(2016年12月5日)	6,551		45	△3.7		87.1	—	124	
40期(2017年1月4日)	6,549		25	0.4		95.3	—	120	
41期(2017年2月6日)	6,451		25	△1.1		86.2	—	112	
42期(2017年3月6日)	6,858		25	6.7		84.1	—	114	
43期(2017年4月4日)	7,067		25	3.4		83.0	—	118	
44期(2017年5月8日)	7,091		25	0.7		90.3	—	119	
45期(2017年6月5日)	7,017		25	△0.7		90.0	—	118	
46期(2017年7月4日)	7,575		25	8.3		94.6	—	127	
47期(2017年8月4日)	7,492		25	△0.8		95.5	—	126	
48期(2017年9月4日)	7,518		25	0.7		93.1	—	127	
49期(2017年10月4日)	7,536		25	0.6		93.2	—	133	
50期(2017年11月6日)	7,154		25	△4.7		90.0	—	120	
51期(2017年12月4日)	7,238		25	1.5		92.7	—	117	
52期(2018年1月4日)	6,845		25	△5.1		93.6	—	111	
53期(2018年2月5日)	6,942		25	1.8		94.9	—	110	
54期(2018年3月5日)	6,579		25	△4.9		93.9	—	105	
55期(2018年4月4日)	6,920		25	5.6		94.3	—	110	
56期(2018年5月7日)	6,675		25	△3.2		91.4	—	106	
57期(2018年6月4日)	6,492		25	△2.4		90.9	—	103	
58期(2018年7月4日)	6,568		25	1.6		94.2	—	105	
59期(2018年8月6日)	6,631		25	1.3		94.8	—	106	
60期(2018年9月4日)	6,407		25	△3.0		92.6	—	103	
61期(2018年10月4日)	6,497		25	1.8		92.8	—	104	
62期(2018年11月5日)	5,982		25	△7.5		91.6	—	95	
63期(2018年12月4日)	5,860		25	△1.6		91.1	—	93	
64期(2019年1月4日)	5,917		25	1.4		91.9	—	94	
65期(2019年2月4日)	6,078		25	3.1		93.7	—	97	
66期(2019年3月4日)	6,192		25	2.3		92.1	—	98	
67期(2019年4月4日)	6,234		25	1.1		92.0	—	98	
68期(2019年5月7日)	6,191		25	△0.3		90.6	—	97	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第63期	(期 首) 2018年11月 5 日	円 5,982		% —	% 91.6		% —
	11月末	5,889	△1.6		84.2		—
	(期 末) 2018年12月 4 日	5,885	△1.6		91.1		—
第64期	(期 首) 2018年12月 4 日	5,860		—	91.1		—
	12月末	5,951	1.6		94.2		—
	(期 末) 2019年 1月 4 日	5,942	1.4		91.9		—
第65期	(期 首) 2019年 1月 4 日	5,917		—	91.9		—
	1月末	6,066	2.5		92.7		—
	(期 末) 2019年 2月 4 日	6,103	3.1		93.7		—
第66期	(期 首) 2019年 2月 4 日	6,078		—	93.7		—
	2月末	6,206	2.1		91.6		—
	(期 末) 2019年 3月 4 日	6,217	2.3		92.1		—
第67期	(期 首) 2019年 3月 4 日	6,192		—	92.1		—
	3月末	6,237	0.7		90.2		—
	(期 末) 2019年 4月 4 日	6,259	1.1		92.0		—
第68期	(期 首) 2019年 4月 4 日	6,234		—	92.0		—
	4月末	6,244	0.2		90.5		—
	(期 末) 2019年 5月 7 日	6,216	△0.3		90.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第63期～第68期：2018年11月6日～2019年5月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 63 期 首	5,982円
第 68 期 末	6,191円
既払分配金	150円
騰 落 率	6.1%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.1% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

メキシコ金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬や為替アクティブヘッジ戦略、為替ヘッジコストなどが基準価額の下落要因となりました。

第63期～第68期：2018年11月6日～2019年5月7日

投資環境について

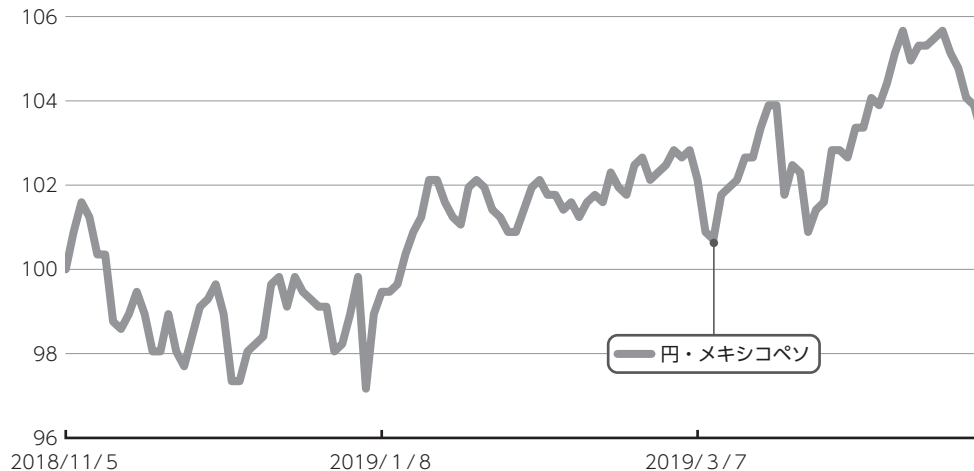
金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

債券市況

2018年12月に就任したロペスオブラドール新大統領が財政規律に配慮した2019年の予算案を提出しメキシコの財政懸念が後退したことや、当作成期の後半にメキシコのインフレ率が低下したことなどを背景に、当作成期を通じて見るとメキシコ金利は低下しました。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)**▶ 為替市況**

メキシコ中央銀行の利上げや米金融当局の金融政策姿勢の転換などを受けて、投資家心理が改善したことなどを背景に、当作成期を通じて見るとメキシコペソは対円で上昇しました。

当投資信託のポートフォリオについて

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型)

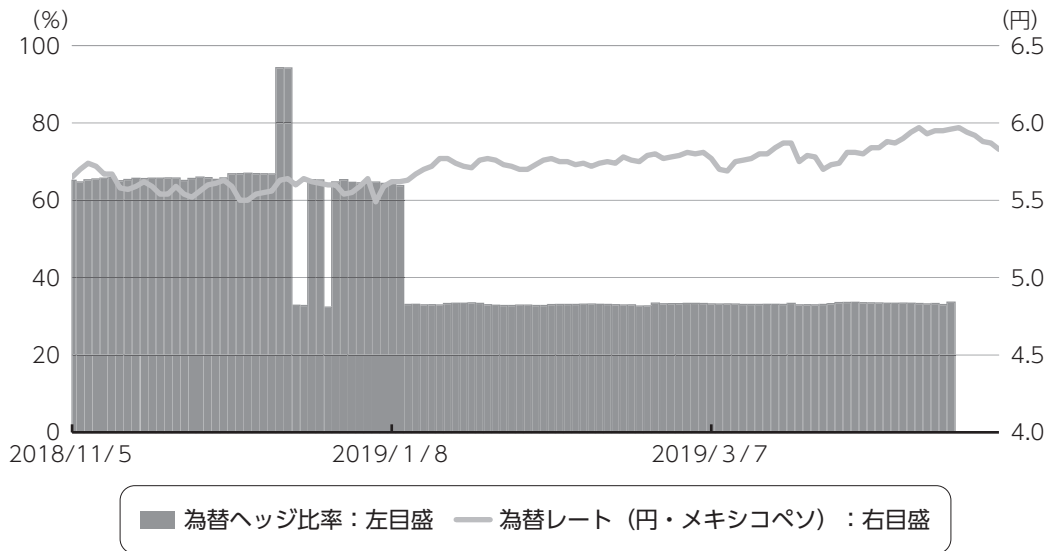
主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れるとともに、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整しました。

主に2018年11月に円高・メキシコペソ安が進行した局面では為替アクティブヘッジ戦略が基準価額下落の抑制要因となりました。一方、2019年1月に円安・メキシコペソ高が進行した局面では当戦略が基準価額上昇の抑制要因となりました。その結果、当作成期を通じて見ると、当戦略は為替ヘッジを実施しなかった場合と比べ、基準価額にマイナスに影響しました。なお、為替ヘッジコストは基準価額に対してマイナスに影響しました。

メキシコ金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスに寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

(ご参考)

■ 為替レートおよび為替ヘッジ比率の推移



(注) 為替ヘッジ比率は、ファンドが保有するメキシコペソ建て資産（キャッシュ含む）に対する割合を簡便的に計算したものです。

▶ メキシコ債券マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ11.2%の上昇となりました。

組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

債券種別構成

メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えられるメキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

金利戦略

メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。

ポートフォリオ全体で見ると、メキシコ金利が低下したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(ご参考)

■ 種別組入比率

2019年4月末

種別	比率
国債	83.5%
社債 (メキシコペソ建て)	9.3%

・比率はベビーファンドの純資産総額に対する割合です。

(ご参考)

■ポートフォリオ特性

2019年4月末

	ファンド
最終利回り	8.4%
最終利回り (為替取引考慮後)	8.4%
直接利回り	7.7%
デュレーション	5.1

- ・データはF I L インベストメンツ・インターナショナルより提供された運用ポートフォリオベース（現地月末ベース）のものであります。
 - ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 - ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
 - ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
 - ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。最終利回り（為替取引考慮後）は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアムやコスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアムやコストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

■債券の格付分布

作成期首 (2018年11月5日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	92.9%	10
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末 (2019年5月7日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	92.5%	10
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
- ・AAA格 (AAA、Aaa)
- ・AA格 (AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)
- ・A格 (A+、A、A-、A1、A2、A3)
- ・BBB格 (BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)
- ・BB格 (BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第63期 2018年11月6日~ 2018年12月4日	第64期 2018年12月5日~ 2019年1月4日	第65期 2019年1月5日~ 2019年2月4日	第66期 2019年2月5日~ 2019年3月4日	第67期 2019年3月5日~ 2019年4月4日	第68期 2019年4月5日~ 2019年5月7日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.425%)	25 (0.421%)	25 (0.410%)	25 (0.402%)	25 (0.399%)	25 (0.402%)
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	668	679	690	697	705	710

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型)

今後の運用方針

主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用する方針です。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整します。

▶ メキシコ債券マザーファンド

運用環境の見通し

メキシコでは、インフレ率と為替市場の動向が金融政策の方向性を左右すると見ています。メキシコのインフレが安定傾向であることを加味すると、今後は利下げ見通しが徐々に強まる可能性があります。また、ロペスオブラドール新政権の政策運営が今後の景況感や投資家心理に影響を与えるため注視が必要です。

今後の運用方針

メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見ています。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

2018年11月6日～2019年5月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第63期～第68期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	54	0.884	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(29)	(0.484)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.378)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.038	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.036)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	56	0.922	

作成期中の平均基準価額は、6,090円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

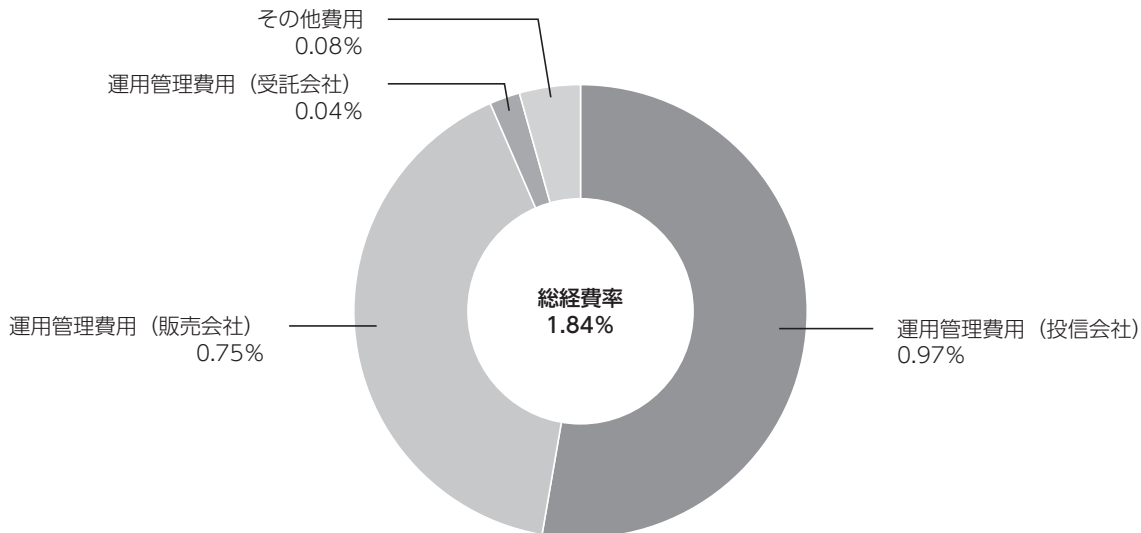
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.84%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月6日～2019年5月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第63期～第68期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 3,765	千円 3,480	千口 12,950	千円 12,550

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月6日～2019年5月7日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型) >

該当事項はございません。

<メキシコ債券マザーファンド>

区 分	第63期～第68期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 255	百万円 31	% 12.2

平均保有割合 6.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第62期末		第68期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 102,309	千円 95,703	千口 93,124	千円 95,703

○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項 目	第68期末	
	評 価 額	比 率
メキシコ債券マザーファンド	千円 95,703	% 96.8
コール・ローン等、その他	3,136	3.2
投資信託財産総額	98,839	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,504,247千円) の投資信託財産総額 (1,539,656千円) に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 メキシコペソ=5.83円		
------------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末
	2018年12月4日現在	2019年1月4日現在	2019年2月4日現在	2019年3月4日現在	2019年4月4日現在	2019年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	154,817,004	212,723,334	130,285,004	130,775,976	130,722,167	162,994,544
コール・ローン等	1,482,375	1,775,491	1,993,910	2,339,127	2,056,493	1,253,919
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	91,405,820	90,950,654	96,576,490	96,841,458	96,149,581	95,703,590
未収入金	61,928,809	119,997,189	31,714,604	31,595,391	32,516,093	66,037,035
(B) 負債	61,087,448	118,442,107	32,659,311	32,497,236	32,509,018	65,317,181
未払金	60,553,745	117,902,142	31,523,718	31,966,934	31,966,934	64,764,194
未払収益分配金	399,901	398,355	401,542	396,791	393,832	394,449
未払解約金	—	—	588,076	—	—	—
未払信託報酬	133,470	141,237	145,602	133,175	147,876	158,136
未払利息	—	3	1	—	3	2
その他未払費用	332	370	372	336	373	400
(C) 純資産総額(A-B)	93,729,556	94,281,227	97,625,693	98,278,740	98,213,149	97,677,363
元本	159,960,493	159,342,302	160,616,823	158,716,770	157,532,957	157,779,629
次期繰越損益金	△ 66,230,937	△ 65,061,075	△ 62,991,130	△ 60,438,030	△ 59,319,808	△ 60,102,266
(D) 受益権総口数	159,960,493口	159,342,302口	160,616,823口	158,716,770口	157,532,957口	157,779,629口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,860円	5,917円	6,078円	6,192円	6,234円	6,191円

○損益の状況

項 目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
	2018年11月6日～ 2018年12月4日	2018年12月5日～ 2019年1月4日	2019年1月5日～ 2019年2月4日	2019年2月5日～ 2019年3月4日	2019年3月5日～ 2019年4月4日	2019年4月5日～ 2019年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 25	△ 136	△ 140	△ 78	△ 71	△ 126
支払利息	△ 25	△ 136	△ 140	△ 78	△ 71	△ 126
(B) 有価証券売買損益	△ 1,416,729	1,454,135	3,121,182	2,337,024	1,208,861	△ 136,836
売買益	2,608,872	2,870,467	8,214,584	3,034,968	1,808,311	1,916,409
売買損	△ 4,025,601	△ 1,416,332	△ 5,093,402	△ 697,944	△ 599,450	△ 2,053,245
(C) 信託報酬等	△ 133,802	△ 141,607	△ 145,968	△ 133,511	△ 148,249	△ 158,536
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 1,550,556	1,312,392	2,975,074	2,203,435	1,060,541	△ 295,498
(E) 前期繰越損益金	△53,261,359	△54,485,272	△53,244,412	△49,980,157	△47,737,309	△47,069,075
(F) 追加信託差損益金	△11,019,121	△11,489,840	△12,320,250	△12,264,517	△12,249,208	△12,343,244
(配当等相当額)	(4,224,894)	(4,269,563)	(4,400,474)	(4,367,749)	(4,346,680)	(4,365,038)
(売買損益相当額)	(△15,244,015)	(△15,759,403)	(△16,720,724)	(△16,632,266)	(△16,595,888)	(△16,708,282)
(G) 計 (D+E+F)	△65,831,036	△64,662,720	△62,589,588	△60,041,239	△58,925,976	△59,707,817
(H) 収益分配金	△ 399,901	△ 398,355	△ 401,542	△ 396,791	△ 393,832	△ 394,449
次期繰越損益金 (G+H)	△66,230,937	△65,061,075	△62,991,130	△60,438,030	△59,319,808	△60,102,266
追加信託差損益金	△11,019,121	△11,489,840	△12,320,250	△12,264,517	△12,249,208	△12,343,244
(配当等相当額)	(4,225,843)	(4,273,958)	(4,407,857)	(4,368,563)	(4,347,414)	(4,365,648)
(売買損益相当額)	(△15,244,964)	(△15,763,798)	(△16,728,107)	(△16,633,080)	(△16,596,622)	(△16,708,892)
分配準備積立金	6,461,728	6,548,416	6,683,209	6,704,626	6,768,271	6,844,945
繰越損益金	△61,673,544	△60,119,651	△57,354,089	△54,878,139	△53,838,871	△54,603,967

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 160,306,020円
 作成期中追加設定元本額 4,871,281円
 作成期中一部解約元本額 7,397,672円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6191円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は60,102,266円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2018年11月6日～ 2018年12月4日	2018年12月5日～ 2019年1月4日	2019年1月5日～ 2019年2月4日	2019年2月5日～ 2019年3月4日	2019年3月5日～ 2019年4月4日	2019年4月5日～ 2019年5月7日
費用控除後の配当等収益額	431,041円	570,075円	576,284円	509,311円	518,186円	471,343円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	4,225,843円	4,273,958円	4,407,857円	4,368,563円	4,347,414円	4,365,648円
分配準備積立金額	6,430,588円	6,376,696円	6,508,467円	6,592,106円	6,643,917円	6,768,051円
当ファンドの分配対象収益額	11,087,472円	11,220,729円	11,492,608円	11,469,980円	11,509,517円	11,605,042円
1万口当たり収益分配対象額	693円	704円	715円	722円	730円	735円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	399,901円	398,355円	401,542円	396,791円	393,832円	394,449円

- ④「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額、および当ファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドの信託財産の純資産総額に対し年10,000分の19.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
1 万口当たり分配金 (税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

メキシコ債券マザーファンド

《第12期》決算日2019年5月7日

[計算期間：2018年11月6日～2019年5月7日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月7日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
8期(2017年5月8日)	9,472	10.0%	91.6%	—	2,508百万円
9期(2017年11月6日)	9,847	4.0%	91.9%	—	2,116
10期(2018年5月7日)	9,527	△3.2%	94.1%	—	1,902
11期(2018年11月5日)	9,246	△2.9%	92.9%	—	1,604
12期(2019年5月7日)	10,277	11.2%	92.5%	—	1,520

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
			円	騰落率			
	(期首)						
	2018年11月5日		9,246	—	92.9	—	—
	11月末		9,098	△ 1.6	85.1	—	—
	12月末		9,327	0.9	95.3	—	—
	2019年1月末		9,648	4.3	94.8	—	—
	2月末		9,994	8.1	93.5	—	—
	3月末		10,093	9.2	92.8	—	—
	4月末		10,320	11.6	91.5	—	—
	(期末)						
	2019年5月7日		10,277	11.2	92.5	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

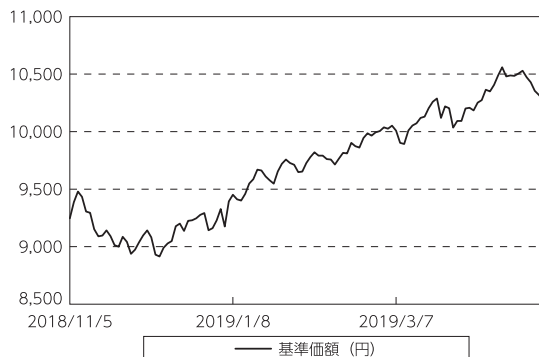
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

・2018年12月に就任したロペスオブラドル新大統領が財政規律に配慮した2019年の予算案を提出しメキシコの財政懸念が後退したことや、期の後半にメキシコのインフレ率が低下したことなどを背景に、期を通じて見るとメキシコ金利は低下しました。

◎為替市況

・メキシコ中央銀行の利上げや米金融当局の金融政策姿勢の転換などを受けて、投資家心理が改善したことなどを背景に、期を通じて見るとメキシコペソは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、メキシコ金利が低下したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・メキシコでは、インフレ率と為替市場の動向が金融政策の方向性を左右すると見えています。メキシコのインフレが安定傾向であることを加味すると、今後は利下げ見通しが徐々に強まる可能性があります。また、ロペスオブラドル新政権の政策運営が今後の景況感や投資家心理に影響を与えるため注視が必要です。

◎今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見えています。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月6日～2019年5月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保 管 費 用)	4	0.036	
(そ の 他)	(4)	(0.036)	
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、9,709円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月6日～2019年5月7日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	メキシコ	千メキシコペソ	千メキシコペソ	
		国債証券	12,946	44,021
		社債券	—	831

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月6日～2019年5月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 12	百万円 —	% —	百万円 255	百万円 31	% 12.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	250,800	241,155	1,405,938	92.5	—	61.9	30.2	0.3
合 計	250,800	241,155	1,405,938	92.5	—	61.9	30.2	0.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	15,100	17,280	100,744	2036/11/20	
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	31,800	27,964	163,035	2026/3/5	
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	17,800	17,304	100,888	2021/6/10	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	32,800	31,502	183,657	2022/6/9	
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	31,500	30,354	176,965	2027/6/3	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	32,300	30,998	180,722	2031/5/29	
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	800	800	4,667	2020/6/11	
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	30,000	30,064	175,276	2023/12/7	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	29,800	30,425	177,382	2029/5/31	
	普通社債券	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	28,900	24,459	142,599	2024/9/12
合 計					1,405,938		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,405,938	% 91.3
コール・ローン等、その他	133,718	8.7
投資信託財産総額	1,539,656	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,504,247千円)の投資信託財産総額(1,539,656千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 メキシコペソ=5.83円	
------------------	----------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,539,656,408
コール・ローン等	96,618,036
公社債(評価額)	1,405,938,634
未収利息	36,681,112
前払費用	418,626
(B) 負債	18,960,071
未払解約金	18,960,000
未払利息	71
(C) 純資産総額(A-B)	1,520,696,337
元本	1,479,651,435
次期繰越損益金	41,044,902
(D) 受益権総口数	1,479,651,435口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,277円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,735,474,842円
 期中追加設定元本額 3,765,269円
 期中一部解約元本額 259,588,676円
 また、1口当たり純資産額は、期末10,277円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1,386,527,381円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	93,124,054円
合計	1,479,651,435円

○損益の状況 (2018年11月6日～2019年5月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	57,329,165
受取利息	57,332,897
支払利息	△ 3,732
(B) 有価証券売買損益	96,882,888
売買益	100,868,348
売買損	△ 3,985,460
(C) 保管費用等	△ 547,517
(D) 当期損益金(A+B+C)	153,664,536
(E) 前期繰越損益金	△130,833,041
(F) 追加信託差損益金	△ 285,269
(G) 解約差損益金	18,498,676
(H) 計(D+E+F+G)	41,044,902
次期繰越損益金(H)	41,044,902

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。